

新型コロナウイルスが日本で確認

され、2年が過ぎましたが、い

まだ先の見えない現状が続いています。

何とも思っていないかった行動のいち

いちをためらうようになったのは私だ

けではないと思います。感染者が減っ

たら実家に顔を出しに行こうと思っ

ても、「うつさない、うつらない」

を考えるとどうしても帰郷ができません

でした。やはり家族のことや勤め先、

またお参り先であるお檀家さんのご家

族を考えると、リスクある行動はより

自粛するようになりました。

わせたことでしょ。

いつもならお参り後に家族で外食に

行っていたのですが、それもできま

せんでした。寂しい気持ちを吐露しな

がらも、おばあさまは「画面越しでも

同じ目的をもって家族全員でお参りで

きたことは本当にありがたい」と話さ

れました。実際に会えない寂しさがあ

る反面、普及し続けているネット環境

や機器の発達によって、画面越しに会

うことができる。離れていても心のつ

ながりを感じる事ができたというお

ばあさまの言葉に、僧侶として、また

帰郷できない一人の人間として、とて



えんきり

縁距離を大切に



While chanting Namu Amida Butsu, you can feel the close presence of Amida Buddha and of dear ones who have gone before.

揮毫 大本山善導寺 第67世法主 阿川文正台下

た時の出来事です。例年、必ずおばあ

さまをはじめ親子三代が集まり、部屋

にはたくさんのご家族が揃います。お

ばあさまは必ず私の隣に座り、全員で

先祖供養のお勤めをしておりまし

た。しかし、今年は部屋におばあさまと

息子さまの二人のみで、その後ろには

パソコンが3台。感染拡大を考慮し、

家族は全員集まらず画面越しの参加に

したというのです。お焼香の際には、

おばあさまが画面の前に香炉を持って

いき、代わりにお焼香をされています

た。きっと画面の向こうのご家族は、

自分がお焼香をしている思いで手を合

も感慨深いものがありました。

さて、3月は春彼岸があります。そ

のお中日には、どこで誰が見ても、太

陽が真東から昇り真西に沈みます。沈

むその方向に、阿弥陀さまやご先祖さ

まがいっしょる西方極楽浄土があり

ます。現在も集まるのが難しい状況で

すが、場所は違えど同じ目的をもって

阿弥陀さまとご先祖さまに想いを馳せ

ながらお念仏をおとなえましょう。

遠く離れていても、お念仏の縁によ

って心がつながっている。そう感じる

ことができるはずですよ。

(滋賀県甲賀市 十楽寺 井口浄彦)